

2019年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号

04010102

1. 計画名称

林業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	森林整備の要望箇所が少なく、予定量の実施には至らなかったが、今後も地元説明会等を実施し推進していく。
今後の重点化施策番号	1	説明	令和元年度より国から地方に配分が行われている森林環境譲与税を活用し、未整備となっている個人有林の整備を実施する。令和2年度は整備を実施するための集約等、茅野市が諏訪6市町村のモデル地区となっている。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	多様な森林整備及び環境保全の推進	おおむね順調	森林環境整備の2年目となるが、要望箇所が少なく、予定量の実施には至らなかったが、昨年藪払い等を実施した区域で、引き続き整備後の現状位にののための作業を行われているところも多く、今後整備箇所が増えることで市内の森林景観も良くなっていくと考えられる。	森林環境整備の要望量が減少したが、団体の代表者が新しくなり、制度を知らなかったことがあったため、制度の認知度を上げる取組が必要となる。	令和元年度より国から地方に配分が行われている森林環境譲与税を活用し、未整備となっている個人有林の整備を実施することで更なる森林整備を推進する。
2	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	やや遅れている	・NPO法人団体との共催で、間伐により発生した木材を活用した薪割講習会(台風の影響で中止)。 ・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(8台を補助) ・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用(鹿山地区もりぐらし)	市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。 ・主に切り捨て間伐により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法の模索。	・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。
3	森林づくりを支えるための教育活動	おおむね順調	小中校の学生を対象とした山林をステージにした作業や催し等への参加を通じ、山の役割、将来にわたっての重要性を共有することができた。	交流会や作業を通じ、林業や森林に対する意識改革へどのように繋げていくかが課題	みどりの少年団活動を中心に、山や緑を育む催しへの積極的な参加の呼びかけと新企画の検討。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」